

ホシザキ電機本社工場 生物多様性マップ ~夏編~

きのこ類

シロオオハラタケ (成長の様子)

毎年同じ場所に梅雨時期に生えていたが、今年は雨が多く、2回生えた。成長日数はわずか2~3日。傘の直径は12cm、高さ20cmと大きなキノコ。

キツネタケ

芝生の広いエリアに生えていた、傘の直径は1cmの小さなキノコ。

敷地内で見られる爬虫類

ニホンカナヘビ

ニホントカゲ

野草類

イタドリ
エノコログサ
コアゼカヤツリ
スズメノヒエ
テリミノイヌハウズキ
ナキリスゲ
ニガナ
ニシキソウ
ノボロギク
ヒメジオン
ムラサキエノコロ
ヤブガラシ

ノチドメ

傷口に葉を貼り付けると血が止まることからこの名が付けられた。

ツククサ

少ししめったところに咲く。青い花弁は古くから染料に利用されてきた。

コスズメガヤ

ヤブラン

スズメノチャヒキ

昆虫類

ツマグロヒョウモン(メス)

アブラゼミ

気温が約20℃になると鳴き始める。今年の初鳴きは7月9日。えさは樹液。

アシナガグモ

巣の中央に脚を伸ばして止まっていた。えものを待つ時、棒状になる姿を見かけることができる。

ゴマダラカミキリ

中央研究所の中で発見。カミキリムシの代表。脚は青白い毛が生えている。

クマゼミ

体色は黒色、翅はきれいな透明。1本のマテバシイの木に5匹ほどとまっていた。

ナミテントウムシ

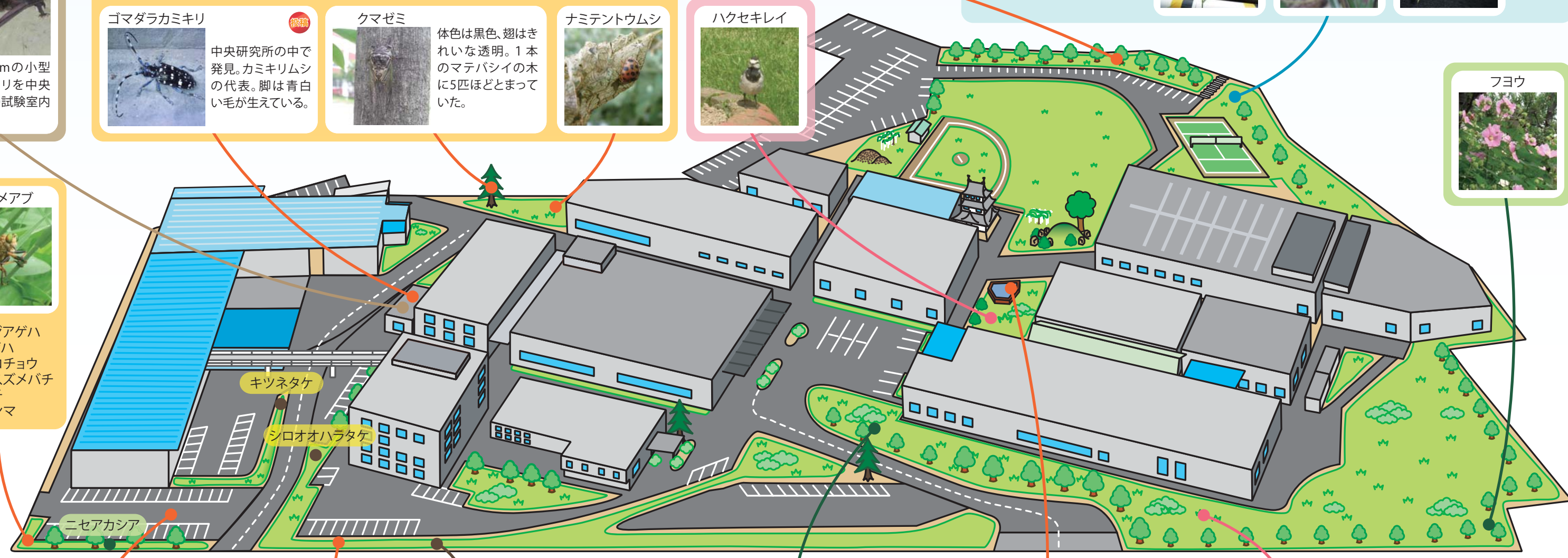
哺乳類

コウモリ

体長5cmの小型のコウモリを中央研究所の試験室内で発見。

アオメアブ

アオスジアゲハ
ナミアゲハ
モンシロチョウ
キロスズメバチ
クマバチ
ギンヤンマ



フヨウ

ツチイナゴ

ヒナバッタ

19mmほどの小さなバッタ。「シュルシュル」、または「ジュル・ルル」となく。

ショウリョウバッタ

イボセイヨウショウロ

ボールかと思間違えるようなキノコ。

敷地内で見られる鳥類

サルスベリ

ナツアカネ

アカトンボの代表。敷地内のあちらこちらで見られた。全身が赤くなるのは秋。

ナミアメンボ

ハシボソガラスの羽

キジバト
ツバメ
ヒヨドリ

スズメ
ムクドリ
ハシボソガラス